

会 議 録

平成 22 年 7 月 8 日調製

審議会等名	平成 22 年度 第 1 回 生涯学習推進会議		
公開の別	全部公開		
開催日時	平成 22 年 5 月 10 日（月）午後 2 時 0 0 分～4 時 0 0 分		
開催場所	三条東公民館 多目的ホール 2	傍聴者	なし
		報道機関	三條新聞
出席者氏名	生涯学習推進会議委員	丸山正夫委員 橋爪 成委員 長野理智子委員 高橋美智子委員	小林邦雄委員 田中正男委員 堀 善一委員
	三 条 市	宗村市民部長 近藤生涯学習課長補佐 金子主事	金子生涯学習課長 小林生涯学習係長
	(欠席者)	佐藤幸治委員	森 久委員
議 題	(1) 平成 21 年度生涯学習推進計画 実施計画・実施状況について (2) 平成 22 年度生涯学習推進計画 実施計画について		
金子課長	<p>本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。 会議に入ります前に、欠席者の連絡をさせていただきます。本日、佐藤委員、森委員より欠席の連絡が入っております。 また岡田委員が 4 月末日をもって辞任（職）届がありましたことを報告させていただきます。 それでは、これより会長に議事進行をお願いいたします。</p>		
田中会長	これより平成 22 年度第 1 回生涯学習推進会議を開催いたします。はじめに市民部長より挨拶をお願いします。		
市民部長	(市民部長あいさつ)		
田中会長	<p>ありがとうございました。 続きまして、3. 出席者紹介ということですが、先ほど課長より委員欠席等の報告がありました、委員等の交代がなかったことからお手元の名簿をもって委員紹介に代えさせていただきます。 続きまして、4 の議題に入ります。 「(1) 平成 21 年度生涯学習推進計画実施計画・実施状況について」事務局の説明をお願いします。</p>		
小林係長	(資料に基づき説明)		
田中会長	ありがとうございました。質問はございませんか。		
堀委員	資料 No. 1 に掲載されている生涯学習等講座ですが、延人数の把握はなされているのですが実人数の把握はされているのでしょうか。また、各講座の「枠（定員）」が多いことは市民に学ぶ機会を与えるという観点から大切だと思いますが、「枠（定員）」は増加傾向にあるのでしょうか。わかる範囲で教えてください。		
田中会長	枠（定員）人数を即答するのは難しいと思います。印象でも良いでしょうか。		

金子課長	統計はとっていないので枠（定員）人数を出すのは難しいです。例えば、中央公民館でやっている講座で言えば20年度と21年度で比較すると増えています。全体的に増えているということで申し上げておきます。
田中会長	抽出調査でもしない限りトータルで出すのは難しいと思います。
堀委員	<p>まなび手帳の発行数を見れば増えているかどうかわかってくるのではないのでしょうか。</p> <p>それと、中央公民館から木造住宅耐震診断の講師の派遣依頼がありました。ただ、年度末ということで宣伝も十分でなく、参加者は限られた方だけでした。多くの方に聞いてもらえなかったのは残念だったので、チラシ等で周知していつてもらいたいと思います。</p>
小林係長	<p>今ほどの堀委員が講師となった講座の件ですが、今年の12月に市民生活に必要なものについて市民の学び場を来年と言わず、すぐに取り組んでいこうと公民館と相談した結果、実施した講座です。前回の会議に堀委員から地域や民間団体からも講師派遣もできるし、知恵もあるから声をかけてくださいという意見を承っていたので、公民館にはすぐに動いたらどうかという話を事務局よりさせていただきました。広報等についてはもう少し時間があれば良かったと思いますので次回への反省とさせていただきます。平成22年度の実施計画にも掲載しましたが、市民総合大学という形で市民や各種団体の皆様の力を借りながら講師として活躍していただきたいと思っています。しかし、指摘のあったように、せっかく有意義な講座を開催したとしても、受講される方が少ないのでは効果は半減してしまいますので、これから広報に力を入れるなど効果的な実施に向けて努めてまいります。</p>
田中会長	堀委員の利用者数の実人数の増減というのは、事業仕分けの話にも出てきそうな質問だと思いますし、実際に社会教育関係者が財政当局との予算折衝の中でも基本の数字になると思いますので、何か一工夫されて統計の数字を整理・把握することも大切だと思います。事務局の見解はいかがでしょうか。
金子課長	<p>所管の施設でやっている講座等については把握しておりますが、各係で行っている事業の参加人数はこの場では整理しておりません。例えば「中央公民館では」という話ししかできません。</p> <p>堀委員よりご発言のあった講座ですが、中央公民館で継続的に行っている「待ったなし！現代講座」でその都度市民が必要と思われるテーマを設けながら行なっています。定員50名で募集しましたが、参加人数が少なかったです。</p>
田中会長	今ほどの説明でご理解願います。他に質問はございますか。
高橋委員	さんじょうまなび手帳についてですが、「ひまわり賞」授与者が6名とのことですが、申請した場合、何か賞状など授与されているのでしょうか。
小林係長	ご指摘のとおり「ひまわり賞」の授与は50単位を取得した6名となっており、奨励賞ということで市長名でA4版の賞状を交付しています。副賞はありません。
小林委員	1講座に対して、何パーセントの参加がありますか。講座によって多い、少ないがあると思いますが・・・おおよそで。

金子課長	青少年体験関係は 100%、家庭教育関係だと 79%くらい、成人講座関係は 75%あるいは 88%、日本文学講座は 68%ということですし、いわゆる IT 講座はほぼ 100%になっています。講座の種類によって違ってきます。
小林委員	パーセント的に少ないものは今後どうするか考えていかなければいけないと思います。
金子課長	健康関係のようなフラダンス、太極拳は市民の要望が高い傾向にあり、現代社会における課題学習のようなものは PR の仕方の工夫もありますが、定員に達していない傾向にあります。しかし、課題学習は受講者が少ないから開講しないという類のものではなく、生活していく上で必要な知識や身につけていくべき内容の講座については学習機会の確保に努めなければなりません。参加率という一面からだけ評価をして「必要でない」ということにはなりません。バランスが難しいところです。
田中会長	事業全体の方向感を把握するには、統計を取って傾向を見るのは大事なことだと思います。今後、検討をお願いします。
橋爪委員	まなび手帳の対象事業について教えてください。
小林係長	お配りした実施計画の表中「事務名」の★（星印）がついたものが生涯学習手帳の対象事業となっています。なお、対象事業は随時追加されています。
橋爪委員	ありがとうございました。
田中会長	続きまして「(2) 平成 22 年度生涯学習推進計画 実施計画について」事務局の説明をお願いします。
小林係長	(資料に基づき説明)
田中会長	ありがとうございました。質問はございませんか。
丸山委員	資料ナンバー 2 の施策体系事業数について、廃止と新規の事業数についての説明もしていただきたいです。
金子課長	57 ページの生涯スポーツ関係について、ご覧ください。斜線が入っていますが、例えばヨガ教室について、公民館主体から自主講座(サークル)に移行する場合も廃止になりますし、ソフトボール大会やファミリーバレーボール大会についても大崎地区コミュニティへ主催を移管したことから公民館は協力となる形になり、資料では廃止としています。
堀委員	講座募集をする際、希望者を越え受講生を抽選により決定した場合、抽選漏れした方々への配慮があるのかどうか教えてください。
金子課長	事業にもよりますが、できるだけ臨機応変に対応し、回数を増やすなどして対応させてもらっています。
長野委員	幼児向けの講座が少ないように思います。就学前の大事な時期の講座がないのが残念です。自然を使った遊び、基本的なしつけなど幼児を対象にした講座を開講して欲しいと思います。
金子課長	公民館としては青少年という形として小学生以上が対象となっています。ご指摘の講座については教育委員会子育て支援課の所管となり栄庁舎にある子育て支援センター(すまいるランド)で、絵本の読み聞かせなど幼児対象の教室や講座を開いています。今後、すまいるランドでどういった事業をしているか調査し、生涯学習に位置づけられるか検討いたします。

橋爪委員	事業名にゲートボール、ファミリーバレーボールはありますが、卓球の掲載がありませんが。
金子課長	本実施計画は基本的に市等が主催する事業が掲載されているものです。ちなみに 58 ページの事業名に「ふれあい卓球広場」があります。
小林委員	学童保育のボランティア事業 (6 ページ) には多くの参加をいただいたということですが、十分な予算措置はあったのでしょうか。
金子課長	全て把握はしていませんが、実施計画に掲載されているので一定の予算により実施されています。
小林係長	丸山委員の“資料ナンバー 2 の廃止と新規の事業数について”の質問について、新規は 19、廃止は 58、隔年開催等 13 が総トータルの内訳になります。
丸山委員	生涯学習の推進に沿った事業の動きなっているのかどうかを把握したいので、例えば他の部署や施設に移管した事業、本当に廃止した事業など傾向を把握できるよう工夫いただきたいと思います。
田中会長	続きまして 5 の報告に入ります。 「(1) 生涯学習手帳「さんじょうまなび手帳」事業について事務局の説明をお願いします。
小林係長	(資料に基づき説明)
田中会長	ありがとうございました。質問はございませんか。
丸山委員	スタンプを押す作業について、公民館窓口等で負担となっていないのでしょうか。実情を聞きたいです。
小林係長	担当者から協力できないという話しは聞いておりません。今のところ順調だと認識しています。
長野委員	まなび手帳の年齢制限について、子どもたちは対象になっているかどうか教えてください。
小林係長	市民であればすべて対象です。前回、長野委員からご指摘いただいた子ども向けの手帳は検討しましたが、子ども向けの講座が少ないことから見合わせていただいたところです。
田中会長	続きまして「(2) 組織機構の見直しについて」事務局の説明をお願いします。
金子課長	(資料に基づき説明)
田中会長	ありがとうございました。質問はございませんか。 質問がないようですので、「(3) その他」ですが、事務局より何かありますでしょうか。 (事務局 特になし) それでは、以上を持ちまして平成 22 年度第一回生涯学習推進会議を終了いたします。最後に丸山委員より挨拶をお願いします。
丸山委員	(丸山委員挨拶)

閉会：午後 3 時 50 分